

第29号

申3号

発行日
2019. 10. 12

Super
Highway

スーパーハイウェイ

JR東労組バス関東本部

発行責任者：遠山真一郎
編集責任者：大枝隆寿
東京都渋谷区代々木2-2-6
JR新宿ビル13F
Tel.03-3375-5045 (NTT)

『東京～徳島・高知線の系統統合と管理の 受委託に関する申し入れ』議事録確認締結！

実施する目的と概要

(現行)全線ツーマン運行
↓
三ヶ日乗り継ぎの
ワンマン運行へ
[一日あたりの出面数]6→2.5
[委託割合]16%→16.5%

旅客需要及び効率的な運行の観点から【乗車人員・平均各25名】

①徳島線及び高知線を系統統合（定期便は徳島経由高知行き、季節便を徳島経由阿南行きに再編）

当社運行分については効率的な運行と収入確保の観点から

②定期便の徳島～高知間をJR四国バス（当社車両を使用）に、季節便の始終点全区間を徳島バス株式会社（同社車両を使用）に運行委託する考え【委託期間は5年間】

議事録確認のポイント

★管理の受委託の今後の考え方について

（会社）効率的な運行や収入確保の観点で有意である場合は管理の受委託制度を活用する考えである。

★効率化により生み出された要員と労働条件について

（会社）臨時便の運行や高収益路線へシフトすることで従来以上に効率性及び収益性を高めていく考えである。なお、今回の改正及び管理の受委託により労働条件が低下することはない。

★徳島バスの安全対策及び要員状況、車両の運用方法及び車両設備等について

（会社）既に乗合バス事業者として徳島と各地を結ぶ高速路線、関東地区との夜行長距離路線を運行する実績があり、貸切バス事業者安全性評価認定制度において三ツ星認定を取得するなど委託先として十分信頼のおける会社である。

★異常時や繁忙期等による迂回運転で夜間の実乗務距離400kmを超過してしまう場合の対策について

（会社）異常時等においてはJR四国バスとの協議のうえ法令や貴側と締結する労働協約を遵守するよう対策を行うとともに、あらかじめ予測される場合は運休や二人乗務なども選択肢として適切に対処する。

★東名三ヶ日支店の業務量と要員状況、要員補充について

（会社）東名三ヶ日支店の要員補充は基本的には同支店近隣からの採用を前提としつつ、業務量調整や他地域からの採用も含め、業務量と要員のバランスを図っていく考えである。

★三ヶ日～徳島間の訓練体制について

（会社）今回の乗継運行に伴う運行経路の特性や営業上の取扱いを把握するための路線見習いについては、車両を使用した見習いを基本とし、今後具体的に検討していく。

★徳島側の休養施設について

（会社）従前どおり、JR四国バスの施設を使用する。

★二人乗務から一人乗務へ変更することによりサービスと安全性を低下させないこと

（各バス停におけるトランク等の取扱い、お茶の提供、渋滞や異常時のお客さまへのきめ細やかな情報の提供等）
（会社）今回の系統統合及び管理の受委託実施後においても、安全を最重要課題としつつ、サービスについても旅客需要との観点から必要な要素を精査し、実施する項目については引き続き適切に実施していく。特に徳島駅での旅客荷物の取り扱いについてはJR四国バスと共同して行うこととしている。

委託期間は5年！職場の検証運動を積み上げよう！！